

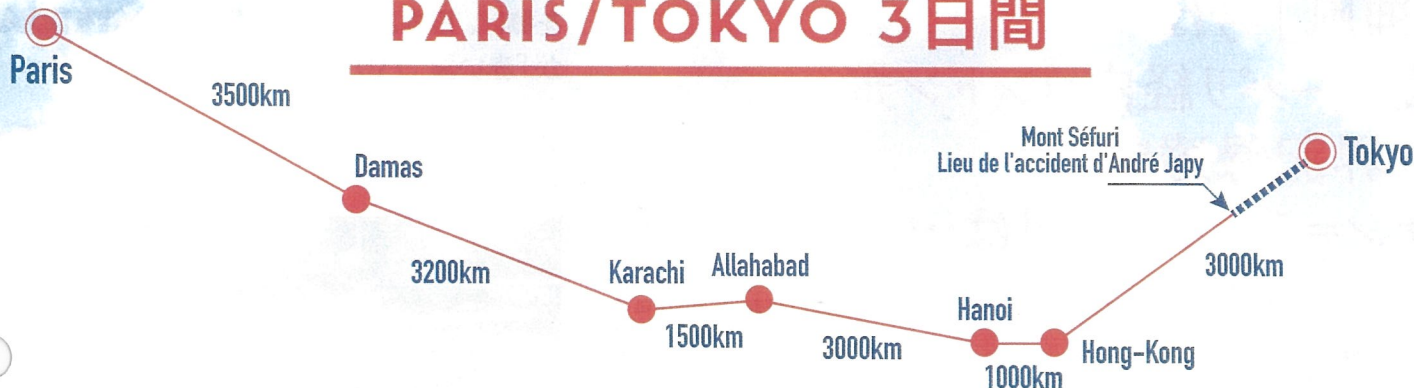
# 東京へ。



AILES ROUGES 1936 / 2024

# 赤い翼

PARIS/TOKYO 3日間



## 赤い翼プロジェクト

### パリー東京100時間飛行への挑戦

1936年11月フランスの飛行士アンドレ・ジャピーが挑戦した単独搭乗による

パリー東京100時間飛行への挑戦は、達成目前に悪天候に阻まれ

九州の脊振山中への墜落により成し遂げられませんでした。

そして、2024年に向けて同型機を復元し、残された佐賀ー東京飛行に挑戦するプロジェクトが、日仏でスタートしました。

●主催 「赤い翼：パリー東京」実行委員会

●主催 フランス 赤い翼実行委員会  
コードロン・シムーン復元協会

●助成 笹川日仏財団

●助成 ラ・フランス共済組合財団



# 1936年、アンドレ・ジャビーは 当時の新鋭機コードロン・シムーンで 東京へ飛びたった。



① アンドレ・ジャビー：フランスの有名なパイロットでボークール市出身。日本へ飛来する前に、パリ・チュニス間往復飛行やモスクワ・パリ間ノンストップ飛行を実施しています。日本への飛行時は32才。

② アンドレ・ジャビーとコードロン・シムーン機



③ アンドレ・ジャビーの墜落現場

# 「神風」号は 東京ーパリ経由ロンドン飛行で 世界記録達成。 サン＝テグジュペリは…



④ 朝日新聞社機「神風」号：1937（昭和12）年4月に東京・ロンドン間の亜欧連絡飛行を実施。総飛行距離約1万5千kmを約94時間で翔破し、国際航空連盟（FAI）の公認記録を達成しました。



⑤ アンドレ・ジャビー（右）は「神風」号の飯沼（左から2人目）・塚越（左）両飛行士に航路の示唆を与えています。



⑥ アンドレ・ジャビーの機体と同型の機体。サン＝テグジュペリはコードロン・シムーンに乗って、パリからサイゴンに行く途中砂漠に墜落、この経験から『星の王子さま』が生まれました。

1936年 アンドレ・ジャビーは当時の新鋭機コードロン・シムーンでパリー東京間100時間飛行に挑戦するも脊振山に墜落。村民の救出で九死に一生を得たアンドレは、朝日新聞社の飯沼正明・塚越賢爾両飛行士に自らの経験に基づくアドバイスを授け、同社の「神風」号は東京ーロンドン（パリ経由）間世界記録飛行の達成に成功しました。アンドレの挑戦の失敗の後、フランスのパイロットたちは1937年までの間に5回も挑戦しましたが、誰も成功しませんでした。

2024年 は東京からパリにオリンピック聖火が引き継がれ、かつアンドレ・ジャビー（1904ー1974）の生誕120年、没後50年にあたります。またフランス人ドアジーが初めて日本に飛来し、フランス航空隊で活躍した滋野清武（バロン滋野）に再会して100年、日仏航空にとっても重要な年です。この記念年に、アンドレ・ジャビー機と同型のコードロン・シムーンを復元、背振・神崎市ー東京間の飛行を実現するとともに、関連するプロジェクトを実施します。このアンドレと同時代に日欧間飛行を果敢に挑戦した多くのパイロットにオマージュを捧げ、日本とフランスを結ぶ強い絆を讃えるのが「赤い翼：パリー東京」プロジェクトです。

# 2024年、いざ東京。



⑦ 現在復元中のコードロン・シムーン機。この飛行機が日本にやってくる。



⑧ 前方上から見た復元機



⑨ 2024年はドアジー（右）がフランスから初めて日本に飛来して100年、仏航空隊で活躍した滋野清武（バロン滋野・左）と再会しています。滋野は仏航空隊の軍服を着て迎えました。



協賛・協力企業を募集中です。詳しくは、「赤い翼：パリー東京」プロジェクトのHP、<https://www.redwing2024.org> 又は、[redwing19362024@gmail.com](mailto:redwing19362024@gmail.com) までお問い合わせください。

